

学びと誇りが実感できるまち

～志を持ち続け
主体的な学習者へ！～



平成31年3月号

庄原市教育委員会
教育長 牧原 明人

庄原の子供たちの活躍が続いています。

まず、スポーツでは、2月・3月に開催される全国大会に出場し総勢30名を超える選手が広島県を代表して力を発揮しています。種目は、スキー、ラグビー、卓球、空手道、雪合戦などです。また、広島県読書感想画コンクール（小学生）と広島県交通安全ポスターコンクール（中学生）において、どちらも最優秀賞に選ばれています。おめでとうございます。

さて、今回は、卒業という大きな節目を迎え、これからの自分について考えるとき、是非、心に留めておいていただきたいことです。それは、「志を持ち続け主体的な学習者」になってほしいことです。

志を立ててもって万事の源となす （吉田松陰）

志は、人が行動するための指針となります。自分自身の心の中に芽生えた決意が出发点となり、こういうことをしてみたい、こういう人生を歩みたい、という心のもち方こそ志であり、志のある人は、生き生きとやる気があふれる生活ができます。この志とは、やりがいやめざす目標といってもいいと思います。志を持ち続け努力を重ねることが自ら成長していくことにつながっていきます。

中国の古典に「石に立つ矢」という表現があります。これは、ある武将が大きな石を虎と見間違えて、一心に矢を射ったところ、刺さるはずもないその石に矢が刺さったという故事から「心を込めて必死になって行えば必ずできる」という例えとして、教えるものです。

また、自分の目指すものに向かう過程では、解決できていないこと、解決されていない課題を見つけ、それに取り組んでいくことが大切になります。

与えられた課題を解決することのみならず、志を持ち続け、自ら進んで主体的に学び、「なぜそうなるのだろう」ということを考え、課題を発見する力が重要となってきます。そして課題を解決するためには、自ら考え、悩み、試行錯誤を繰り返し、さらに、本や他の多様な考えを持つ人から学び、前に向かって取り組む姿勢が求められます。

これからも「志を持ち続け主体的な学習者」となり、ますます活躍してほしいと願っています。